

会長講演

CL1 **これでいいのだ!** 6月20日(金)8:30-9:00
第7会場

座長：高宮 有介（昭和大学医学部 医学教育推進室）

CL1 **これでいいのだ!** 110
齊藤 洋司（島根大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケアセンター）

特別講演

SL1 **ガンと生きる** 6月21日(土)11:00-12:00
第7会場

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケアセンター）

SL1 **ガンと生きる** 111
鳥越 俊太郎

海外招待講演

EL1 **Whole person care** 6月20日(金)9:10-10:10
同時通訳あり 第8会場

座長：細川 豊史（京都府立医科大学大学院 疼痛緩和医療学講座）

EL1 **Whole Person Care** 112
Tom A Hutchinson (Professor, Departments of Medicine and Oncology, Director,
Programs in Whole Person Care, McGill University, Montreal, Canada)

EL2 **米国における非がん疾患の緩和ケアの動向：認知症患者のケア** 6月20日(金)10:25-11:25
同時通訳あり 第8会場

座長：関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）
笹原 朋代（筑波大学医学医療系保健医療学域）

EL2 **Updates in Palliative Care for Non-Cancer Diagnoses in the United States: Care of the Patient with Dementia** 114
Sandra Moody (Professor-in-Residence, Kameda Medical Center, Kamogawa City, Japan
Associate Clinical Professor, Department of Medicine, University of California,
San Francisco, USA)

EL3 **骨がん性疼痛：機序から治療へ** 6月20日(金)15:15-16:15
同時通訳あり 第8会場

座長：山本 達郎（熊本大学医学部附属病院 麻酔科）

EL3 **Bone Cancer Pain: From Mechanism To Therapy** 116
Patrick W. Mantyh (Department of Pharmacology, University of Arizona,
Arizona Cancer Center, University of Arizona, Tucson, USA)

EL4 6月20日(金)17:00-18:00
第8会場

座長：恒藤 暁（京都大学大学院医学研究科 集学的がん診療学講座）

演者：Allan Kellehear (Professor of Community Health,
School of Health & Education, Middlesex University, London ,UK)

招待講演

IL1	新しい抗がん剤治療の副作用対策	6月20日(金)9:10-10:10 第2会場
	座長：奈良林 至（埼玉医科大学国際医療センター 緩和医療科）	
IL1	新しい抗癌剤治療の副作用対策 118 南 博信（神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科）	
IL2	救急集中治療と緩和ケア	6月20日(金)9:10-10:10 第7会場
	座長：齊藤 洋司（島根大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケアセンター）	
IL2	救急集中治療と緩和ケア 119 氏家 良人（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野、岡山大学病院高度救命救急センター）	
IL3	質的研究と量的研究を架橋する	6月20日(金)9:10-10:10 第9会場
	座長：内布 敦子（兵庫県立大学看護学部）	
IL3	質的研究と量的研究を架橋する 120 高木 廣文（東邦大学看護学部）	
IL4	緩和ケアにおける課題と多面的・多角的・多重的評価の必要性	6月20日(金)9:10-10:10 第10会場
	座長：木下 寛也（国立がん研究センター 東病院）	
IL4	緩和ケアにおける課題と多面的・多角的・多重的評価の必要性 121 近藤 克則（千葉大学 予防医学センター 環境健康学研究部門）	
IL5	被災地の仕事づくりを通じて	6月20日(金)10:25-11:25 第10会場
	座長：佐藤 隆次（博愛会一関病院 緩和医療科）	
IL5	被災地の仕事づくりを通じて 122 西村 佳哲（リビングワールド代表、働き方研究家）	
IL6	子どものホスピスにおける親と子の緩和ケア	6月20日(金)15:15-16:15 第7会場
	座長：岡本 健一郎（昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科）	
IL6	子どものホスピスにおける親と子の緩和ケア 123 甲斐 裕美（NPO法人生きるちからvivace）	
IL7	病院の世紀の終焉と緩和ケア	6月20日(金)15:15-16:15 第10会場
	座長：山本 亮（佐久総合病院 佐久医療センター）	
IL7	病院の世紀の終焉と緩和ケア 124 猪飼 周平（一橋大学大学院 社会学研究科）	
IL8	痛みと心	6月21日(土)9:00-10:00 第1会場
	座長：安部 睦美（松江市立病院 緩和ケアセンター）	
IL8	痛みと心 125 細井 昌子（九州大学病院 心療内科）	

IL9 患者と医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル:スピークアップとリーダーシップ 6月21日(土)9:00-10:00 第7会場

座長: 蘆野 吉和 (青森県立中央病院 緩和医療科)

IL9 患者と医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル:スピークアップとリーダーシップ 126
中島 和江 (大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部)

IL10 「機能的脳画像から見た痛み」—プラシーボは偽薬ではない— 6月21日(土)10:15-11:15 第9会場

座長: 下山 直人 (東京慈恵会医科大学 緩和医療学)

IL10 「機能的脳画像から見た痛み」—プラシーボは偽薬ではない— 127
半場 道子 (福島県立医科大学医学部整形外科学講座)

招請講演

RL1 人が生き、死ぬこと 6月20日(金)9:10-10:10 第1会場

座長: 柏木 哲夫 (金城学院大学、淀川キリスト教病院)

RL1 人が生き、死ぬこと 128
垣添 忠生 (公益財団法人 日本対がん協会)

RL2 がん治療後の性生活を考える—あなたが今日からできること— 6月20日(金)9:10-10:10 第11会場

座長: 鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学 産婦人科学)

RL2 がん治療後の性生活を考える—あなたが今日からできること— 129
高橋 都 (国立がん研究センターがん対策情報センター がんサバイバーシップ支援研究部)

RL3 小児の疼痛—WHOガイドラインの解説と実践— 6月20日(金)17:00-18:00 第9会場

座長: 多田羅 竜平 (大阪市立総合医療センター 緩和医療科兼小児総合診療科)

RL3 小児の疼痛—WHOガイドラインの解説と実践— 130
朴 明子 (群馬県立小児医療センター 血液腫瘍科)

RL4 がん患者のQOLを向上させる漢方薬—基礎研究および臨床研究を通して明らかになってきたエビデンス— 6月21日(土)9:00-10:00 第9会場

座長: 今津 嘉宏 (芝大門 いまづクリニック)

RL4 がん患者のQOLを向上させる漢方薬—基礎研究および臨床研究を通して明らかになってきたエビデンス— 131
上園 保仁 (国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)

シンポジウム

SY1 患者・家族との良好なコミュニケーションのために 6月20日(金)10:25-11:55 第1会場

座長: 内富 庸介 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学教室)
濱口 恵子 (がん研究会有明病院 緩和ケアセンター)

SY1-1 患者・家族と信頼関係を築くための支持的コミュニケーションのコツ 134
清水 研 (国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科)

SY1-2 否認と怒りを理解し対応するコミュニケーション 134
二宮 ひとみ (臨床心理士)

SY1-3	希死念慮を理解し対応する 135 明智 龍男 (名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野)	
SY2 サイコオンコロジー入門		6月20日(金)10:25-11:55 第2会場
座長：大西 秀樹 (埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科) 中島 信久 (東北大学大学院 外科病態学講座 緩和医療学分野)		
SY2-1	成長モデルから見た緩和ケア～サイコオンコロジーにできること～ 135 徳山 まどか (市立豊中病院精神科)	
SY2-2	医療者－患者、医療者間で意見の相違が生じたときの対応について 136 佐々木 千幸 (国立がん研究センター東病院看護部)	
SY2-3	疼痛と抑うつ：心身一如の相互関係 136 柏木 雄次郎 (関西福祉科学大学)	
SY3 医療従事者に対する緩和ケア研修のこれまでとこれから		6月20日(金)10:25-11:55 第3会場
座長：木澤 義之 (神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野) 小松 浩子 (慶應義塾大学 看護医療学部)		
SY3-1	医療従事者に対する緩和ケア研修のこれまでとこれから 137 佐藤 哲観 (弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室)	
SY3-2	精神心理的ケアに関する緩和ケア研修のこれまでとこれから 137 上村 恵一 (市立札幌病院精神医療センター)	
SY3-3	看護師に対する緩和ケア研修のこれまでとこれから 138 田村 恵子 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)	
SY3-4	薬剤師に対する緩和ケア研修のこれまでとこれから 138 川村 和美 (シップヘルスケアファーマシー東日本 教育研修部)	
SY4 在宅緩和ケアにおけるITネットワークの活用		6月20日(金)10:25-11:55 第4会場
座長：茅根 義和 (株式会社東芝 東芝病院 緩和ケア科) 小野沢 滋 (北里大学病院 トータルサポートセンター)		
SY4-1	緩和ケアチームが在宅緩和ケアを支援するためのITクラウドを用いた支援体制の可能性 139 小林 孝一郎 (富山赤十字病院 呼吸器外科・緩和ケアチーム)	
SY4-2	在宅緩和ケアの地域連携におけるICT活用 139 遠矢 純一郎 (医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック)	
SY4-3	コミュニケーションツールとしての在宅緩和ケアICT 140 鈴木 央 (鈴木内科医院)	
SY4-4	柏モデルに於けるカナミックネットワークを用いた在宅の多職種連携について 140 平野 清 (柏市医師会介護保険担当理事)	
SY4-5	多職種連携のためのITの活用:長崎在宅Dr.ネットでの取り組み 141 白髭 豊 (医療法人 白髭内科医医院)	
SY5 がん診療連携拠点病院の相談支援センターとPCT・PCUとの連携の実際と課題		6月20日(金)10:25-11:55 第5会場
座長：加藤 雅志 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部) 小坂橋 俊哉 (東京歯科大学市川総合病院 麻酔科)		
SY5-1	相談支援センターが緩和ケアに貢献できること～ PCT・PCUとの連携～ 141 橘 直子 (総合病院山口赤十字病院 医療社会事業部/相談支援センター)	

SY5-2	がん相談支援センターと緩和ケアチーム 142 里見 絵理子 (国立病院機構大阪医療センター 緩和ケア内科・がんサポートチーム、 現 国立がん研究センター中央病院緩和医療科)
SY5-3	相談支援センターとPCT・PCUとの連携の実際と課題ー相談支援センターの看護師の立場からー 142 清水 奈緒美 (神奈川県立がんセンター)
SY5-4	当院におけるがん相談支援センターと緩和ケア病棟との連携 143 橋本 龍也 (島根大学医学部附属病院緩和ケアセンター)

SY6
pros & consこんなときどうする:輸血する/しない

6月20日(金)10:25-11:55
第6会場

座長:志真 泰夫 (筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)
小笠原 利枝 (横浜市立みなと赤十字病院)

シンポジスト

森 雅紀 (聖隷浜松病院 緩和医療科)	
西 智弘 (川崎市立井田病院 かわさき総合センター).....	144

SY7
終末期の急変を考える

6月20日(金)10:25-11:55
第7会場

座長:久永 貴之 (公益財団法人筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)
渡壁 晃子 (彩都友誼会病院)

SY7-1	終末期の急変を考える~臨床看護師の立場から~ 145 長谷川 久巳 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院)
SY7-2	終末期の急変を考える~緩和ケア病棟の現状と対応~ 146 村上 真基 (新生病院 緩和ケア科)
SY7-3	終末期の急変を考える~サイコオンコロジーの立場から~ 146 所 昭宏 (国立病院機構近畿中央胸部疾患センター心療内科/支持・緩和療法チーム)
SY7-4	終末期の急変を考える~医療倫理学の立場から~ 147 大関 令奈 (東京大学大学院医学系研究科 社会医学専攻医療倫理学分野)

SY8
多職種サポーターチームの現状と展望

6月20日(金)10:25-11:55
第11会場

座長:橋爪 隆弘 (はしづめクリニック)
川口 美喜子 (大妻女子大学家政学部、島根大学医学部)

SY8-1	緩和ケアチームの現状と問題 147 小山 富美子 (近畿大学医学部附属病院)
SY8-2	緩和医療と栄養サポートチーム 148 三村 卓司 (社会医療法人 緑社会 金田病院 外科)
SY8-3	多職種サポーターチームと病棟間の連携における現状と課題 148 菊地 香織 (地方独立行政法人市立秋田総合病院 看護管理室)
SY8-4	チーム医療について 149 岩田 健太郎 (神戸大学 病院感染症内科)

SY9
医師ー医師間のコミュニケーションを振り返る

6月20日(金)10:25-11:55
第12会場

座長:中谷 俊彦 (島根大学医学部 緩和ケア講座)
佐藤 温 (弘前大学大学院医学研究科 腫瘍内科学講座)

SY9-1	医師ー医師間のコミュニケーション~主治医とチーム医師の間にある信念対立は解消されない?~ 149 奥山 慎一郎 (山形大学医学部附属病院 疼痛緩和医療部)
SY9-2	医師ー医師間のコミュニケーションを振り返る~精神科医の立場から~ 150 大上 俊彦 (亀田総合病院精神科)

SY9-3	腫瘍内科医と緩和ケア医の連携 150 高野 利実 (虎の門病院臨床腫瘍科)
SY9-4	緩和ケアチーム医師と依頼医が良好な関係性を築くためのコミュニケーションを考える ～緩和ケアチーム看護師の立場から～ 151 海津 未希子 (東京大学医学部附属病院)

SY10 生活の視点から就労問題を考える	6月20日(金)10:25-11:55 第13会場
--------------------------------	------------------------------

座長：田村 里子 (東札幌病院)

SY10-1	がん患者の多様なニーズに対応するしくみづくり 151 菊内 由貴 (独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 患者・家族総合支援センター)
SY10-2	がん患者就労支援をとおして見えてきたこと 152 高田 由香 (静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター :よろず相談)
SY10-3	医療者と社会保険労務士の協働による就労支援の有用性と今後の課題 ～がん患者の暮らしや仕事を支えるために～ 152 近藤 明美 (近藤社会保険労務士事務所)
SY10-4	仕事とがん治療の両立：納得度の高い働き方をどのように実現するか 153 高橋 都 (国立がん研究センターがん対策情報センター がんサバイバーシップ支援研究部)

SY11 在宅医療での疼痛緩和におけるハードル	6月20日(金)15:15-16:45 第1会場
-----------------------------------	-----------------------------

座長：足立 誠司 (鳥取市立病院 総合診療科、地域医療総合支援センター)
太田 緑 (十和田市立中央病院 看護管理室)

SY11-1	在宅医療での疼痛緩和におけるハードル～在宅医の立場で～ 153 村井 邦彦 (村井クリニック、自治医科大学麻酔科学)
SY11-2	在宅緩和ケアの領域で薬剤師をうまく活用してもらうために～ハードルを下げる方法、教えます。～ 154 岡野 聡 (安田調剤薬局)
SY11-3	在宅医療での疼痛緩和におけるハードル～訪問看護の立場から～ 154 宇野 さつき (新国内科医院)

SY12 終末期の難治性せん妄のマネジメント	6月20日(金)15:15-16:45 第2会場
----------------------------------	-----------------------------

座長：池永 昌之 (淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院 ホスピス科)

SY12-1	終末期におけるせん妄マネジメント～せん妄の3因子／低活動型せん妄／薬剤による鎮静～ 155 井上 真一郎 (岡山大学病院 精神科神経科)
SY12-2	終末期の難治性せん妄のマネジメント 155 小早川 誠 (広島大学病院 緩和ケアチーム室)
SY12-3	終末期の難治性せん妄のマネジメント 156 福田 かおり (社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷三方原病院ホスピス)

SY13 緩和ケアを市民に届けるためには？	6月20日(金)15:15-16:45 第3会場
---------------------------------	-----------------------------

座長：濱 卓至 (大阪府立成人病センター 心療・緩和科/緩和ケアチーム)
橘 直子 (総合病院山口赤十字病院 医療社会事業部)

SY13-1	緩和ケアを理解し、緩和ケアを受けることのできる社会に 156 前川 育 (NPO法人周南いのちを考える会)
SY13-2	がんや医療取材を通じて感じた緩和医療の必要性 157 永山 悦子 (毎日新聞科学環境部医療情報室)
SY13-3	岡山県における緩和医療啓発のための野の花プロジェクト 157 松岡 順治 (岡山大学大学院保健学研究科 岡山大学病院緩和支援医療科)

SY13-4 市民に向けた緩和ケアの普及啓発活動のこれまでの取り組みと今後の方向性 158
 加藤 雅志 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部)

SY14 緩和ケアの現場で起こる意見の違い・対立をどう克服するか 6月20日(金)15:15-16:45 第4会場

座長：平井 啓 (大阪大学 大型教育研究プロジェクト支援室)

SY14-1 問題解決のための交渉学 160
 平井 啓 (大阪大学医学系研究科生体機能補完医学講座/大型教育研究プロジェクト支援室)

SY14-2 対立から一転？人間関係を深める価値観コミュニケーション 160
 阿部 泰之 (旭川医科大学病院緩和ケア診療部)

SY14-3 信念対立の克服に必要な考え方、やり方:信念対立解明アプローチ 161
 京極 真 (吉備国際大学大学院保健科学研究科)

SY15 排便マネジメント～難治性便秘に対する多職種アプローチ～ 6月20日(金)15:15-16:45 第5会場

座長：今井 堅吾 (聖隷三方原病院 ホスピス科)

檜谷 貴子 (公益財団法人 筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院)

SY15-1 がん患者の排便マネジメント～医師の立場から～ 161
 今井 堅吾 (聖隷三方原病院 ホスピス科)

SY15-2 オピオイドと便秘に関する最近の研究 162
 石原 正志 (岐阜大学医学部附属病院薬剤部)

SY15-3 がん患者の排便マネジメント～看護師の立場から～ 162
 山口 聖子 (行徳総合病院 看護部)

SY16 患者家族のための意思決定支援～わが国の医療システムを見据えて～ 6月20日(金)15:15-16:45 第9会場

座長：山口 崇 (神戸大学附属病院 腫瘍センター)

林 糸り子 (藤沢湘南台病院)

SY16-1 アドバンス・ケア・プランニングの背景と問題提起 163
 大谷 弘行 (九州がんセンター 緩和ケアチーム/緩和治療科)

SY16-2 在宅・病院医療チームが協働で支える～どう生きたいかに伴走する～ 163
 宇都宮 宏子 (在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス)

SY16-3 End of Life Careにおける対話と意思決定支援 164
 近藤 まゆみ (北里大学病院 総合相談部)

SY16-4 終末期の話し合いにおける意思決定支援:オンコロジストの立場から 164
 清水 千佳子 (国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 外来)

SY17 緩和ケアにおける音楽療法の実践からみる可能性と課題 6月20日(金)15:15-16:45 第13会場

座長：関本 雅子 (医療法人社団関本クリニック)

岡本 禎晃 (市立芦屋病院 薬剤科)

SY17-1 緩和ケアにおける音楽療法の実践からみる可能性と課題 165
 中山 ヒサ子 (札幌大谷大学芸術学部)

SY17-2 緩和ケアにおける音楽療法～音楽療法士による実践～ 165
 堀 彩 (甲陽音楽学院)

SY17-3 米国での音楽療法留学経験と日本での臨床から音楽療法を考える 166
 長坂 希望 (武蔵野大学)

SY17-4 医療従事者からみた音楽療法 166
 田村 恵子 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

SY18 6月21日(土)8:30-10:00
症状の重症化を予防するためのサポータティブケア 第2会場

座長：荒尾 晴恵（大阪大学大学院医学系研究科）
 川崎 優子（兵庫県立大学 看護学部）

- SY18-1 **乳がん患者の倦怠感緩和のためのウォーキングエクササイズプログラム** 167
 宮脇 聡子（独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 看護部 看護支援室）
- SY18-2 **リンパ浮腫を呈する進行がん患者に対するケアの現状と課題** 167
 大畑 美里（聖路加メディカルセンター）
- SY18-3 **放射線治療中の口腔ケアに関するチームでの取り組み** 168
 橋口 周子（兵庫県立がんセンター 看護部）
- SY18-4 **手足症候群の重症化を予防するためのスキンケア** 168
 西谷 葉子（京都第二赤十字病院 看護部）

SY19 6月21日(土)8:30-10:00
あなたにとって理想的な卒後教育とは？ 第4会場

座長：三宅 智（国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野）
 橋口 さおり（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター）

- SY19-1 **質の高い緩和医療研修制度の構築に向けて～若手医師対象の全国調査より～** 169
 森 雅紀（聖隷浜松病院 緩和医療科）
- SY19-2 **がんプロフェッショナル養成プラン大学院コースを修了して** 169
 竹内 麻理（慶應義塾大学医学部緩和ケアセンター）
- SY19-3 **地域の施設群で実施する緩和医療研修プログラム つくばでの取り組み** 170
 久永 貴之（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）

SY20 6月21日(土)8:30-10:00
医療用麻薬以外のオピオイドの使い方 第5会場

座長：井関 雅子（順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座）
 塩川 満（聖隷浜松病院）

- SY20-1 **非がん性痛に対する使用方法** 170
 伊達 久（仙台ペインクリニック）
- SY20-2 **薬剤師の視点から医療用麻薬以外のオピオイドについて考える** 171
 久原 幸（手稲溪仁会病院 がん治療管理センター 緩和ケア室・緩和ケアチーム）
- SY20-3 **がん疼痛におけるトラマドール塩酸塩の位置づけと諸問題** 171
 橋本 智貴（獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座）

SY21 6月21日(土)8:30-10:00
「患者・家族のためのがん疼痛治療ガイド」の目指すところ 第6会場

座長：的場 元弘（青森県立中央病院 緩和医療科）

- SY21-1 **「患者・家族のためのがん疼痛治療ガイド」の目指すところ** 172
 佐藤 哲観（弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室）
- SY21-2 **「患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド」にこめた願い～看護師の立場から～** 172
 高橋 美賀子（聖路加国際病院）
- SY21-3 **「患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド」への期待～薬剤師の立場から～** 173
 立松 三千子（愛知県がんセンター中央病院 薬剤部）

SY22
自施設でできる研究の質を上げよう(研究方法論:初級編)

6月21日(土)8:30-10:00
 第8会場

座長: 森田 達也(聖隷三方原病院 緩和支援診療科)
 山口 崇(神戸大学附属病院 腫瘍センター)

- SY22-1 介入・観察研究:デザインの段階~フルニトラゼラム単回皮下投与の単施設前向き観察研究から~ 173
 金石 圭祐(JCHO東京新宿メディカルセンター)
- SY22-2 スコボラミンの舌下投与に関する前後比較研究の海外雑誌への投稿経験 174
 今井 堅吾(聖隷三方原病院 ホスピスコ)
- SY22-3 1-2施設でできる研究のエッセンシャルズ:調査研究のデザイン 174
 塩崎 麻里子(近畿大学 総合社会学部)
- SY22-4 質問紙調査:投稿の段階 175
 伊勢 雄也(日本医科大学付属病院薬剤部)

SY23
非がん疾患の緩和ケア~専門領域から見た緩和ケアの現状と課題~

6月21日(土)8:30-10:00
 第10会場

座長: 平原 佐斗司(東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所)

- SY23-1 心疾患における緩和ケアの現状と課題“循環器内科医の視点から” 175
 大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科)
- SY23-2 維持血液透析患者の終末期ケア 176
 大平 整爾(札幌北クリニック)

SY24
子どもへのいのちの教育

6月21日(土)8:30-10:00
 第13会場

座長: 小澤 竹俊(めぐみ在宅クリニック)
 西 智弘(川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター)

- SY24-1 子どもへのいのちの教育と緩和医療 176
 小澤 竹俊(めぐみ在宅クリニック)
- SY24-2 亡くなる命 看取る命を支え続けて 177
 堂園 晴彦(堂園メディカルハウス)
- SY24-3 中学・高校生に対する「がん教育」命の大切さの自分ごと化 177
 安藤 秀明(秋田大学医学部附属病院緩和ケアセンター、
 秋田大学次世代がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン、秋田県健康推進課がん対策室)

SY25
「看護の場面で考える:やる?やらない?」-終末期のケアで悩む場面を考えよう-

6月21日(土)10:15-11:45
 第1会場

座長: 小山 富美子(近畿大学医学部附属病院 看護部)
 里見 絵理子(国立病院機構 大阪医療センター 緩和ケア内科)

シンポジスト

- 石垣 靖子(北海道医療大学)
- 久山 幸恵(静岡県立静岡がんセンター)
- 海津 未希子(東京大学医学部附属病院)
- 堺 千代(大分ゆふみ病院) 178

SY26
新規抗精神病薬および抗うつ薬、睡眠薬を緩和医療の現場で使いこなす

6月21日(土)10:15-11:45
 第2会場

座長: 山田 了士(川崎医科大学精神科学教室 川崎医療福祉大学医療福祉学部)

- SY26-1 緩和医療で新規抗精神病薬を使いこなす 179
 佐伯 吉規(がん研有明病院 緩和治療科)
- SY26-2 新規抗うつ薬を使いこなす 179
 上村 恵一(市立札幌病院精神医療センター)

SY26-3	新規睡眠薬を使いこなす～従来薬との違いを含めて～	180
	谷向 仁 (大阪大学医学部附属病院 オンコロジーセンター)	

SY27

転移性骨腫瘍カンファレンス～転移性骨腫瘍に対するチームアプローチ～

6月21日(土)10:15-11:45

第3会場

座長：坂下 明大 (神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター 緩和ケアチーム)
長尾 充子 (近畿大学医学部附属病院 看護部 がんセンター)

SY27-1	当院における骨転移に対する多職種チーム医療の取り組み	181
	片桐 浩久 (静岡県立静岡がんセンター 整形外科)	
SY27-2	ライブカンファレンス～転移性骨腫瘍カンファレンス～リハビリテーション科医師の立場から	181
	辻 哲也 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)	
SY27-3	転移性骨腫瘍カンファレンスにおけるリハビリテーション専門職の役割	182
	北原 エリ子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 リハビリテーション室)	
SY27-4	転移性骨腫瘍に対する放射線腫瘍医の考え方	182
	佐々木 良平 (神戸大学医学部附属病院 放射線腫瘍科)	

SY28

様々な非がん疾患に対する緩和ケアチーム活動の実際

6月21日(土)10:15-11:45

第4会場

座長：荻野 美恵子 (北里大学医学部 神経内科学)
藤田 愛 (北須磨訪問看護・リハビリセンター)

SY28-1	様々な非がん疾患に対する緩和ケアチーム活動の実際 神経内科分野における経験と今後	183
	荻野 美恵子 (北里大学医学部神経内科学 (北里大学メディカルセンター))	
SY28-2	疾患を限定しないエンドオブライフケアチームに大切なこと ～エンドオブライフケアチームリーダー (看護師) の立場から～	183
	横江 由理子 (国立長寿医療研究センター エンドオブライフ (EOL) ケアチーム)	
SY28-3	疾患を限定しないエンドオブライフケアチームを全国に普及させるための10の視点 ～国立長寿医療研究センター エンドオブライフケアチーム (医師) の経験から～	184
	西川 満則 (国立長寿医療研究センター エンドオブライフ (EOL) ケアチーム、緩和ケア診療部、在宅連携医療部、内科総合診療部、特別養護老人ホームさわやかなの郷)	

SY29

事例に学ぶ痛みの緩和(初級編)

6月21日(土)10:15-11:45

第5会場

座長：佐藤 哲観 (弘前大学医学部附属病院 麻酔科 緩和ケア診療室)

SY29-1	患者・家族の不安や誤解への対応、医師の立場から	184
	石原 辰彦 (岡山済生会総合病院 緩和ケア科)	
SY29-2	患者の不安と誤解、副作用からの解放を目指す薬学的介入の実践	185
	佐藤 淳也 (岩手医科大学附属病院 薬剤部)	
SY29-3	痛みのマネジメントにおける看護師の役割～生活の視点から～	185
	津金澤 理恵子 (公立富岡総合病院 緩和ケアチーム)	

SY30

鎮痛補助薬:ケタミン・リドカイン・ステロイドのup to date

6月21日(土)10:15-11:45

第6会場

座長：樋口 比登実 (昭和大学病院 緩和医療科)
鈴木 雅美 (国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野)

SY30-1	鎮痛補助薬:ケタミンのup to date	186
	田島 つかさ (東北大学病院緩和医療科)	
SY30-2	抗不整脈薬のup to date	186
	瀧川 千鶴子 (KKR札幌医療センター 緩和ケア科)	
SY30-3	鎮痛補助薬:ケタミン・リドカイン・ステロイドのup to date “ステロイド”	187
	益田 律子 (東海大学医学部附属東京病院 麻酔科)	

SY31

緩和ケア領域における研究方法論の最近のControversy

6月21日(土)10:15-11:45

第8会場

座長：中島 信久（東北大学大学院 外科病態学講座 緩和医療学分野）
井上 彰（東北大学病院 臨床研究推進センター）

- SY31-1 MORECare statement：英国における終末期ケアサービスの評価方法の提言 187
宮下 光令（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野）
- SY31-2 緩和ケア領域の臨床試験におけるエンドポイントの設定 188
前田 一石（大阪大学大学院医学系研究科緩和医療学寄附講座）
- SY31-3 緩和ケア領域でのcomplex interventionの研究手法論 188
森田 達也（聖隷三方原病院緩和と支持治療科）
- SY31-4 緩和ケア臨床試験のPoints of Controversy 189
岩瀬 哲（東京大学大学院医学系研究科緩和医療学講座）

SY32

認知症の緩和ケア～人としてのつながりをコミュニケーションから考える～

6月21日(土)10:15-11:45

第10会場

座長：桑田 美代子（医療法人社団慶成会青梅慶友病院）
西山 みどり（有馬温泉病院）

- SY32-1 タクティールケア 189
木本 明恵（日本スウェーデン福祉研究所）
- SY32-2 認知症高齢者を支援すること～バリテーションから、得られるもの～ 190
都村 尚子（関西福祉科学大学）
- SY32-3 回想法 190
宮本 典子（慶成会老年学研究所）
- SY32-4 後天的に学べる優しさを伝える技術：ユマニチュード 191
本田 美和子（国立病院機構東京医療センター 総合内科）

SY33

緩和ケア病棟におけるチーム医療の推進

6月21日(土)10:15-11:45

第11会場

座長：東口 高志（藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座）
伊東 俊雅（東京女子医科大学病院 がんセンター緩和ケア室）

- SY33-1 緩和ケア病棟におけるチーム医療推進のために～病棟管理者・医師の立場から～ 191
児玉 佳之（社会医療法人社団カレスサポロ 時計台記念病院 緩和ケアセンター）
- SY33-2 当緩和ケア病棟におけるチーム医療の実際～看護師の立場から～ 192
浦崎 優子（藤田保健衛生大学病院 看護部）
- SY33-3 緩和ケア病棟における薬剤師業務の現状と課題 192
二村 昭彦（藤田保健衛生大学七栗サナトリウム薬剤課、藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座）
- SY33-4 ホスピス病院における食と栄養のチーム医療 193
大谷 幸子（淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院）

SY34

様々な施設における看取りの現状と今後の課題

6月21日(土)10:15-11:45

第12会場

座長：伊藤 真美（医療法人社団 花の谷クリニック）

- SY34-1 有床診療所（有床診）における看取りのすがた 193
中井 祐之（医療法人ならの杜 たんぽぽクリニック）
- SY34-2 本当の家ではない「もう一つの家」での看取り 194
兼行 栄子（ホームホスピス「愛逢の家」）
- SY34-3 グループホームにおける看取り 194
石田 修一（特定非営利活動法人ヒューマックス）

SY35 **小児緩和ケア～子どもらしく生きることを支える～** 6月21日(土)10:15-11:45
第13会場

座長：永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療科）

- SY35-1 **子どもの笑顔をみたい～病院医師としてできること～** 195
金井 理恵（島根大学小児科）
- SY35-2 **小児緩和ケア～障がいや病気を持つ子ども達の健やかな暮らしを支える看護師の役割～** 195
福田 裕子（まちのナースステーション八千代）
- SY35-3 **小児の在宅医療とレスパイトケア～子どもと家族の暮らしに寄り添うこと～** 196
高橋 昭彦（ひばりクリニック/認定NPO法人うりずん）

SY36 **呼吸困難への対応～明日から役だつ多職種アプローチ！～** 6月21日(土)15:45-17:15
第1会場

座長：田中 桂子（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）
關本 翌子（国立がん研究センター東病院）

- SY36-1 **緩和ケアとしての呼吸リハビリテーション** 196
岩城 基（国家公務員共済組合連合会吉島病院リハビリテーション科）
- SY36-2 **食欲不振時の食事：症状を軽減するコツと工夫～管理栄養士の立場から～** 197
中山 環（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 栄養管理部）
- SY36-3 **呼吸困難のある患者へのケア～看護師の立場から～** 197
山川 幸枝（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 緩和ケア病棟）
- SY36-4 **「からだところのつながり」に働きかける～心理士の立場から～** 198
栗原 幸江（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

SY37 **不眠のマネジメント～ぜひ知っておきたい非薬物療法と薬物療法アップデート～** 6月21日(土)15:45-17:15
第2会場

座長：市田 泰彦（国立がん研究センター東病院 薬剤部）
森田 幸代（滋賀医科大学 腫瘍センター 精神医学講座）

- SY37-1 **緩和医療の現場における睡眠障害の原因および非薬物療法と薬物療法** 198
吉内 一浩（東京大学大学院医学系研究科ストレス防御・心身医学）
- SY37-2 **不眠の背景に潜む見落とされがちな病態：
レストレスレッグス（むずむず脚）症候群、薬剤性不眠、睡眠時無呼吸症候群など** 199
森田 幸代（滋賀医大腫瘍センター）
- SY37-3 **睡眠障害を有するがん患者のケア** 199
林田 由美子（がん研究会有明病院看護部）

SY38 **緩和ケアの卒前教育** 6月21日(土)15:45-17:15
第3会場

座長：寺嶋 吉保（徳島県立中央病院 臨床腫瘍科）
高宮 有介（昭和大学医学部 医学教育推進室）

- SY38-1 **コミュニケーション教育を橋頭保に緩和ケア卒前教育の地位確立を！** 200
飯嶋 哲也（山梨大学医学部麻酔科）
- SY38-2 **医師国家試験と緩和ケア** 200
丹波 嘉一郎（自治医科大学附属病院緩和ケア部）
- SY38-3 **終末期ケア実習における看護学生への心的衝撃への心理教育的支援** 201
伊藤 まゆみ（共立女子大学看護学部）
- SY38-4 **看護学生の緩和ケア教育～寄り添う心を育てる実習指導～** 201
清水 佐智子（鹿児島大学医学部保健学科）
- SY38-5 **薬学における緩和ケアの卒前教育の現状と課題** 202
加賀谷 肇（明治薬科大学臨床薬剤学教室）

SY39
症例に学ぶtotal painへのアプローチ

6月21日(土)15:45-17:15
 第5会場

座長：武村 史（市立札幌病院 精神医療センター）
 田村 恵子（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻）

- SY39-1 **症例に学ぶtotal painへのアプローチ** 202
 黒岩 ゆかり（宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟）
- SY39-2 **total painのassessmentとチームアプローチにおける看護師の役割について** 203
 伊藤 由美子（兵庫県立がんセンター看護部）
- SY39-3 **薬剤師による痛みの評価、アプローチ** 203
 小宮 幸子（横浜市立大学附属病院 薬剤部）
- SY39-4 **症例に学ぶtotal painへのアプローチ～臨床心理士の立場から～** 204
 厚坊 浩史（奈良県立医科大学附属病院緩和ケアセンター）

SY40
いまあらためてスピリチュアルケアの本質を問う

6月21日(土)15:45-17:15
 第6会場

座長：川村 三希子（札幌市立大学 看護学部）
 田村 里子（東札幌病院）

- SY40-1 **スピリチュアルケアに関わるものの在り方** 204
 藤井 美和（関西学院大学大学院 人間福祉研究科
 死生学・スピリチュアリティ研究センター）
- SY40-2 **臨床実践におけるスピリチュアルケアとは何かを考える～緩和ケアチーム医師の立場から～** 205
 嶋本 正弥（九州大学病院がんセンター）
- SY40-3 **スピリチュアルケアにおける「in a presence」というケア** 205
 石垣 靖子（北海道医療大学）

SY41
明日から使える症状緩和のコツ

6月21日(土)15:45-17:15
 第7会場

座長：大坂 巖（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）
 龍 恵美（長崎大学病院 薬剤部）

- SY41-1 **稀ではあるが、重要な症状の対処** 206
 新城 拓也（しんじょう医院）
- SY41-2 **予後1か月未満での要となる薬～ステロイドと鎮静薬の使用のコツ～** 206
 松尾 直樹（外旭川病院 ホスピス）
- SY41-3 **内服困難な患者に対する苦痛緩和のコツ～咳嗽・吃逆へのリドカインの全身投与～
 ～ルートがなくても可能な眠剤（ベンゾジアゼピン）の単回皮下投与～** 207
 金石 圭祐（JCHO東京新宿メディカルセンター）

SY42
在宅緩和ケアにおける多職種の役割と連携

6月21日(土)15:45-17:15
 第11会場

座長：濱本 千春（YMCA訪問看護ステーション・ピース）
 鉄穴口 麻里子（安芸地区医師会居宅介護支援事業所）

- SY42-1 **在宅緩和ケアにおける医師の役割** 207
 前野 宏（札幌医療生活協同組合 ホームケアクリニック札幌）
- SY42-2 **「顔が見える連携」から「相手が分かる連携」へ** 208
 倉持 雅代（浅草医師会立訪問看護ステーション）
- SY42-3 **多職種によるプライマリ・ケアチームと様々な分野の専門家の連携による緩和ケア** 208
 横山 幸生（かとう内科並木通り診療所）
- SY42-4 **在宅緩和ケアにおける多職種の役割と連携（リハビリ職種における現状と課題）** 209
 佐藤 義文（手稲溪仁会病院）

SY42-5	在宅緩和ケアにおける薬剤師の役割～チーム医療を目指して～ 天方 幸子（薬局セントラルファーマシー長嶺）	209
--------	--	-----

SY43
進行性神経筋疾患におけるオピオイドの使用

6月21日(土)15:45-17:15
第12会場

座長：荻野 美恵子（北里大学医学部 神経内科学）

SY43-1	神経専門病院でのオピオイド使用経験 駒井 清暢（独立行政法人国立病院機構医王病院神経内科）	210
SY43-2	進行性神経筋疾患におけるオピオイドの使用：ホスピスケアから 加藤 修一（シャローム病院緩和ケア科、救世軍清瀬病院ホスピス科）	210
SY43-3	進行性神経筋疾患におけるオピオイドの使用～在宅での使用～ 難波 玲子（神経内科クリニックなんば）	211
SY43-4	オピオイド使用によるALSの在宅看取りを経験して 白倉 すみ江（相模原市医師会 訪問看護ステーション）	211

フォーラム

FO1
看護師フォーラム 緩和ケアにおける看護への期待－緩和ケアの実践、教育、創造に向かって－

6月20日(金)17:00-18:30
第1会場

座長：濱本 千春（YMCA訪問看護ステーション・ピース）
梅田 恵（株式会社緩和ケアパートナーズ）

F01-1	在宅ホスピスボランティアとして終末をともにして 大石 睦子（広島・ホスピスケアをすすめる会）	214
F01-2	緩和ケアにおけるチャレンジと創造 馬庭 恭子（地域看護専門看護師・広島市議会議員・WCS婦人科がん患者会）	214
F01-3	早期からの緩和ケア教育プログラム作成・普及 渡邊 眞理（地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター）	215
F01-4	緩和ケアにおける看護への期待 ～緩和ケアの実践、教育、創造に向かって医師の立場から看護師に期待すること～ 浜野 淳（筑波大学 医学医療系 総合診療グループ・緩和ケアチーム）	215

FO2
MSWフォーラム ソーシャルワークアセスメントをチームケアに活かす

6月20日(金)17:00-18:30
第3会場

座長：福地 智巴（静岡県立静岡がんセンター）
太田 多佳子（松山ベテル病院 医療相談室）

F02-1	人と環境の相互作用に焦点をあてたアセスメントをチームケアに活かす 御牧 由子（埼玉医科大学国際医療センター 総合相談センター／がん相談支援センター）	216
F02-2	MSWのアセスメントを生かしたがん患者・家族への支援体制づくり 佐藤 千秋（聖マリアンナ医科大学東横病院）	216

FO3
多職種フォーラム 緩和医療に携わる医療者のダイバーシティ～育児から親の介護のはざままで～

6月20日(金)17:00-18:30
第5会場

座長：有賀 悦子（帝京大学 医学部 緩和医療学講座）
山田 博英（聖隷浜松病院 緩和医療科）

F03-1	育児と認定薬剤師取得の両立～そのために必要だったものとは～ 芝崎 由美子（埼玉県立がんセンター薬剤部）	217
F03-2	緩和医療に携わる医療者のダイバーシティ～親の介護のはざままで～ 番匠 千佳子（聖隷浜松病院 看護部）	217
F03-3	女性医師だからできることを求めて 安部 睦美（松江市立病院 緩和ケアセンター）	218

FO4
薬剤師フォーラム 新薬に対する薬学的対応

6月20日(金)17:00-18:30
 第6会場

座長：片山 志郎（日本医科大学付属病院 薬剤部）
 余宮 きのみ（埼玉県立がんセンター）

- F04-1 **フェンタニル速放性製剤の適正使用に必要な薬物動態からみた基本的知識** 218
 平山 武司（北里大学東病院薬剤部）
- F04-2 **フェンタニル速放性製剤適正使用のための方策・注意点** 219
 小宮 幸子（横浜市立大学附属病院 薬剤部）
- F04-3 **新薬の位置づけと処方～タペンタドールのプロフィール～** 219
 龍 恵美（長崎大学病院 薬剤部・緩和ケアチーム）

FO5
大学病院フォーラム

6月20日(金)17:00-18:30
 第10会場

座長：高宮 有介（昭和大学医学部 医学教育推進室）
 斎藤 真理（横浜市立大学附属 市民総合医療センター 化学療法・緩和ケア部）

- F05-1 **藤田保健衛生大学病院の緩和ケア病棟の役割と課題** 220
 東口 高志（藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座）
- F05-2 **東北大学病院における緩和ケア病棟の役割と課題** 220
 中保 利通（東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野）
- F05-3 **大学病院に求められる役割** 221
 齊藤 洋司（島根大学医学部 麻酔科学・緩和ケアセンター）
- F05-4 **緩和ケア病床を核とした緩和医療体制の拡充をめざして** 221
 飯嶋 哲也（山梨大学医学部麻酔科）
- F05-5 **緩和ケア病棟看護の立場から** 222
 松尾 光代（久留米大学病院緩和ケアセンター）

委員会企画

CM1
緩和医療におけるガイドラインの考え方と活用のポイント

6月20日(金)15:15-16:45
 第6会場

座長：太田 恵一郎（聖路加国際病院 消化器センター）
 大野 智（帝京大学 医学部臨床研究医学講座）

- CM1-1 **がん疼痛薬物療法に関するガイドライン2014年版の変更点と解説** 224
 余宮 きのみ（埼玉県立がんセンター 緩和ケア科）
- CM1-2 **診療ガイドライン:国内外の動向** 224
 中山 健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野）
- CM1-3 **どこでどんな情報を得られるか～信頼できる情報を見分けて活用するには～** 225
 高山 智子（国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供研究部）

CM2
専門的横断的緩和ケア推進委員会主催 緩和ケアチームフォーラム

6月20日(金)17:00-18:30
 第2会場

座長：橋爪 隆弘（はしづめクリニック）
 濱 卓至（大阪府立成人病センター 心療・緩和科/緩和ケアチーム）

- CM2-1 **緩和ケアチーム登録（平成25年度）速報
 拠点病院における緩和ケアチームに求められる新しい要件について** 225
 橋爪 隆弘（はしづめクリニック）
- CM2-2 **がん診療連携拠点病院の新要件 傾向と対策** 226
 小川 朝生（国立がん研究センター東病院精神腫瘍科）

CM3
専門医フォーラム「専門医認定制度/専門医Brush upセミナー」

6月20日(金)17:00-18:30
 第13会場

座長：橋口 さおり（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター）
 大坂 巖（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）

CM3-1	暫定指導医へのアンケート結果より 226 山本 亮（佐久総合病院佐久医療センター 緩和ケア内科）
CM3-2	申請書類・症例報告書の書き方 227 久永 貴之（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）
CM3-3	専門医試験 筆記試験の概要 227 小原 弘之（県立広島病院 緩和ケア科）
CM3-4	口頭試問の実際 228 坂下 明大（神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター 緩和ケアチーム）
CM3-5	2015年度に初めて実施される専門医更新試験の概要 228 関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）
CM3-6	緩和医療 Up-Date 229 山口 崇（神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科）

CM4
第4回ELNEC-J指導者 交流集会～ELNEC-Jコアカリキュラム指導者用ガイド2014を使いこなそう～ 第3会場

6月21日(土)8:30-10:00

座長：梅田 恵（株式会社緩和ケアパートナーズ）

CM4	第4回ELNEC-J指導者 交流集会～ ELNEC-Jコアカリキュラム指導者用ガイド2014を使いこなそう～ 229 竹之内 沙弥香（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻） 笹原 朋代（筑波大学医学医療系保健医療学域） 新幡 智子（筑波大学大学院人間総合科学研究科） 日本緩和医療学会教育研修委員会 ELNEC-J Working Practitioner Group, Working Group員 （ELNEC-Jコアカリキュラム指導者用ガイド2014改訂メンバー：各モジュールの代表者）
-----	---

CM5
委託事業委員会企画 緩和ケア普及啓発事業(オレンジバルーンプロジェクト)活動報告と今後の展開 第4会場

6月21日(土)15:45-17:15

座長：加藤 雅志（国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部）
 濱 卓至（大阪府立成人病センター 心療・緩和科/緩和ケアチーム）

CM5-1	「診断時からの緩和ケア」をいかに提供していくか？～関西シンポジウムから～ 230 池永 昌之（淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院 ホスピス科）
CM5-2	早期からの緩和ケアとがん患者・家族の意思決定支援 230 永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療内科）
CM5-3	かんわケア・カフェ 231 堀籠 淳之（株式会社中央薬局）
CM5-4	診断時からの緩和ケアを提供するには？ 231 小林 孝一郎（富山赤十字病院呼吸器外科）
CM5-5	地域イベント関連企画in中・四国 「診断時からの緩和ケアに向けて～わたしにできる取り組みを考える～」 232 橘 直子（総合病院山口赤十字病院 医療社会事業部）
CM5-6	がんと診断された時から始める緩和ケア 232 塩川 満（総合病院 聖隷浜松病院）

CM6
用語委員会企画 緩和ケア領域における用語統一の現状と課題

6月21日(土)15:45-17:15
 第13会場

座長：佐藤 英俊（佐賀大学医学部附属病院 地域包括緩和ケア科）

CM6-1	緩和ケア領域における用語統一の現状と課題－医師の視点から－ 233 間宮 敬子（旭川医科大学 教育センター）
-------	--

CM6-2	緩和ケア領域における用語統一の現状と課題—看護の視点から— 233 辻川 真弓 (三重大学医学部看護学科)
CM6-3	日本ペインクリニック学会・用語委員会からの報告 234 西江 宏行 (岡山大学病院 麻酔科 蘇生科)

国際交流セッション

国際交流セッション

6月20日(金)17:00-18:30

緩和医療における精神的支援(Psychological Support on Palliative Medicine)

第4会場

座長：恒藤 暁 (京都大学大学院医学研究科 集学的がん診療学講座)

1. **Integration and Diversity of Palliative Medicine and Psycho-Oncology: Taiwan perspective** 236
Chun-Kai Fang (Chief, Department of Psychiatry, Mackay Memorial Hospital
President, Taiwan Psycho-Oncology Society Board, Taiwan Academy of Hospice
Palliative Medicine Board
Taiwan Hospice Organization Committeeman, Taiwan Hospice Foundation, Taipei,
Taiwan)
 2. **Logotherapy-based Psycho-spiritual Intervention on Palliative Care: Korean perspective** 237
Kyung-Ah Kang (Professor, Department of Nursing, Sahmyook University, Seoul, Korea)
- Logotherapy Education Program Development and the Effects on Early Adulthood Patients with Terminal Cancer in Korea** 238
Kyung-Ah Kang (Professor, Department of Nursing, Sahmyook University)

※この演題は、上記2の発表の補足演題です。

当日は、展示場3号館でポスターパネルに掲示致します。

日本緩和医療学会・日本静脈経腸栄養学会合同シンポジウム

日本緩和医療学会・日本静脈経腸栄養学会合同シンポジウム

6月21日(土)8:30-10:00

がん患者における代謝・栄養管理

第11会場

座長：細川 豊史 (京都府立医科大学大学院 疼痛緩和医療学講座)

東口 高志 (藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)

1. **がん終末期における輸液ガイドラインに基づく輸液栄養療法—有用性の検証と患者・家族の希望に配慮した対応** 240
中島 信久 (東北大学大学院 外科病態学講座 緩和医療学分野)
2. **がん専門病院における栄養管理の必要性** 240
比企 直樹 (がん研有明病院 消化器外科 胃外科 栄養管理部)
3. **輸液ガイドラインの活用と具体的な取り組み** 241
池永 昌之 (淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院 ホスピス科)
4. **がん治療における栄養管理の重要性：「悪液質」をいかに早期発見し、治療するか** 241
三木 誓雄 (伊賀市立上野総合市民病院)
5. **“精神にも身体にも優しい” 緩和医療の実現に向けたチームアプローチによる輸液療法の取り組み** 242
二村 昭彦 (藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 医療技術部薬剤課、
藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座)
6. **がん悪液質の治療、特に疼痛との関連から** 242
乾 明夫 (鹿児島大学大学院 心身内科学)

SS1 突出痛、広がる治療アプローチ～フェンタニル速放性製剤を現場でいかすには～ 6月20日(金)12:20-13:20 第1会場

共催：大鵬薬品工業株式会社
座長：的場 元弘（青森県立中央病院 緩和医療科）

SS1 突出痛、広がる治療アプローチ～フェンタニル速放性製剤を現場でいかすには～ 244
余宮 きのみ（埼玉県立がんセンター 緩和ケア科）

SS2 がん疼痛緩和～チーム医療から地域連携へ～ 6月20日(金)12:20-13:20 第2会場

共催：久光製薬株式会社／協和発酵キリン株式会社
座長：志真 泰夫（筑波メディカルセンター病院）

SS2 がん疼痛緩和～チーム医療から地域連携へ～ 244
松岡 順治（岡山大学大学院保健学研究科 岡山大学病院 緩和支援医療科）

SS3 最後への選択～PTEGキット(経皮食道胃管挿入用キット)の緩和医療への応用～ 6月20日(金)12:20-13:20 第3会場

共催：住友ベークライト株式会社
座長：倉 敏郎（町立長沼病院）
コメンテーター：末永 仁（日立港病院）

SS3-1 「生きる力」を取り戻すための選択 245
小林 由紀子（医療法人惇慈会日立港病院）

SS3-2 最後（しあわせ）への選択 245
鈴木 英子（医療法人惇慈会日立港病院）

SS4 食べて治す、食べて癒す/がん治療を支える口腔の感染症対策 6月20日(金)12:20-13:30 第4会場

共催：イーエヌ大塚製薬株式会社
座長：細川 豊史（京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座）

SS4-1 食べて治す、食べて癒す 246
東口 高志（藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座）

SS4-2 がん治療を支える口腔の感染症対策 246
岩淵 博史（神奈川歯科大学 顎顔面外科講座）

SS5 緩和ケアセンターの役割とがん疼痛治療の最前線 6月20日(金)12:20-13:20 第5会場

共催：塩野義製薬株式会社
座長：濱口 恵子（公益財団法人 がん研究会有明病院 緩和ケアセンター）

SS5 緩和ケアセンターの役割とがん疼痛治療の最前線 247
服部 政治（公益財団法人 がん研究会有明病院 緩和ケアセンター 緩和・がん疼痛治療部）

SS6 がん性疼痛における神経障害性疼痛の治療戦略 Treatment strategy of neuropathic pain in clinical oncology field 6月20日(金)12:20-13:20 第6会場

共催：ファイザー株式会社／エーザイ株式会社
座長：高宮 有介（昭和大学医学部 医学教育推進室）

SS6 がん性疼痛における神経障害性疼痛の治療戦略 Treatment strategy of neuropathic pain in clinical oncology field 247
住谷 昌彦（東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部）

SS7
Teaching Whole Person Care

6月20日(金)12:20-13:20
同時通訳あり 第8会場

共催：昭和薬品化工株式会社
座長：恒藤 暁（京都大学大学院医学研究科 集学的がん診療学講座）

- SS7 Teaching Whole Person Care 248
Tom A Hutchinson (Professor, Departments of Medicine and Oncology, Director,
Programs in Whole Person Care, McGill University, Montreal, Canada)

SS8
がん治療におけるリハビリテーションの現状と展望

6月20日(金)12:20-13:20
第12会場

共催：小野薬品工業株式会社
座長：江口 研二（帝京大学医学部）

- SS8 がん治療におけるリハビリテーションの現状と展望 249
辻 哲也（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室）

SS9
治療中のだるさを和らげるためのアプローチ

6月20日(金)12:20-13:20
第13会場

共催：大塚製薬株式会社
座長：濱 卓至（大阪府立成人病センター 心療・緩和科）

- SS9 治療中のだるさを和らげるためのアプローチ 249
下山 理史（愛知県がんセンター中央病院 緩和ケア部）

ランチョンセミナー 6月21日(土)

SS10
がん疼痛治療に新たな戦略 アセトアミノフェン静注液の活用

6月21日(土)12:10-13:10
第1会場

共催：テルモ株式会社
座長：小川 節郎（日本大学 総合科学研究所）

- SS10 がん疼痛治療に新たな戦略 アセトアミノフェン静注液の活用 252
的場 元弘（青森県立中央病院 緩和医療科）

SS11
緩和医療学会専門医に必要な痛みの基礎と臨床

6月21日(土)12:10-13:10
第3会場

共催：日本臓器製薬株式会社
座長：佐藤 英俊（佐賀大学医学部附属病院 地域包括緩和ケア科）

- SS11 緩和医療学会専門医に必要な痛みの基礎と臨床 252
南 敏明（大阪医科大学 麻酔科学教室）

SS12
緩和ケア充実化に向けて～呼吸器症状を中心に～

6月21日(土)12:10-13:10
第4会場

共催：田辺三菱製薬株式会社
座長：田中 桂子（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

- SS12-1 神経筋疾患の終末期の呼吸苦とその緩和～ALSを中心に～ 253
難波 玲子（神経内科クリニックなんば）

- SS12-2 非がん疾患（特に慢性閉塞性肺疾患と心不全）の緩和ケア 253
山本 亮（佐久総合病院佐久医療センター 緩和ケア内科）

SS13 **“いのちケア”支える医療へ～東洋医学的(食養生・漢方・鍼灸)アプローチを活かして～** 6月21日(土)12:10-13:10 第8会場

共催：株式会社ツムラ
座長：内富 庸介（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学）

- SS13** **“いのちのケア” 支える医療へ
～東洋医学的(食養生・漢方・鍼灸)アプローチを活かして～** 254
渡邊 睦弥（一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 緩和ケア科・精神科）

SS14 **せん妄治療の基本レシピ～重症度別最適処方コレクション～** 6月21日(土)12:10-13:10 第9会場

共催：大日本住友製薬株式会社
座長：月山 淑（和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター 緩和ケア部門）

- SS14** **せん妄治療の基本レシピ～重症度別最適処方コレクション～** 254
佐伯 俊成（市立三次中央病院 緩和ケア内科 緩和ケアチーム）

SS15 **今求められる適切な痛みの評価とオピオイドの選択
～新しいオピオイド・タベンタドールの登場に際して～** 6月21日(土)12:10-13:10 第11会場

共催：ヤンセンファーマ株式会社
座長：細川 豊史（京都府立医科大学大学院 疼痛緩和医療学講座）

- SS15** **今求められる適切な痛みの評価とオピオイドの選択
～新しいオピオイド・タベンタドールの登場に際して～** 255
小杉 寿文（佐賀県医療センター好生館）

SS16 **緩和ケアにおける栄養管理** 6月21日(土)12:10-13:10 第12会場

共催：ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー
座長：東口 高志（藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座）

- SS16** **緩和ケアにおける栄養管理** 255
田中 芳明（久留米大学医学部附属病院 医療安全管理部）

SS17 **緩和ケアにおけるオピオイドとPCAの基礎/在宅におけるPCAポンプ管理実施に至るまで** 6月21日(土)12:10-13:10 第13会場

共催：株式会社ジェイ・エム・エス
座長：中谷 俊彦（島根大学医学部 緩和ケア講座）

- SS17-1** **緩和ケアにおけるオピオイドとPCAの基礎** 256
橋本 龍也（島根大学医学部附属病院 緩和ケアセンター）
- SS17-2** **在宅におけるPCAポンプ管理実施に至るまで** 256
今田 敏宏（島根県立中央病院 総合診療科）